

水難学会

平成 30 年度活動方針

平成 30 年 6 月 9 日

(1) 子供の生還率 100%達成にむけて

今後 14 年間でわが国の子供の生還率 100%を達成する。学校教育現場と緊密に連携して情報共有し、全国 2 万校ある、すべての小学校でういてまて教室が実施されるよう、会員の総力で行動する。

(2) 水難対策の広域連携にむけて

実務では立場により観点が変わる水難。水難学を基礎として、議論・整理する環境と流れを提供し、わが国の水難対策の策定に貢献し、その広域連携の実現に資する。

(3) オープン・イノベーションにむけて

open uitemate を標語に、このイノベーションを世界に広げるばかりでなく、その効果を国外で確認し、世界規模で水難からの生還を議論する。

以上